

# はしかみ

# No.15

11月号 (November)

# 議会だより

## 三陸復興 国立公園



小学校音楽発表会で全6校の児童約260人が15曲を発表  
写真は石鉢小学校児童による合奏「A列車で行こう」



### がんばろう階上 がんばろう東北

青森県階上町議会

## 02 9月定例会

一般会計決算  
2億1644万円の黒字

## 06 ここが聞きたい

3議員が一般質問

## 12 特集 区長に聞く 鳥屋部行政区



# 第3回 9月定例会

平成25年第3回定例会を9月10日開会し、9月13日閉会しました。今回の議会では、認定2件、報告2件、条例制定1件、条例の一部改正1件、条例廃止1件、補正予算6件、その他3件、計16件が上程されました。また、議員派遣の件1件、議員による発議案2件が提出されました。審議の結果、いずれも全会一致で認定、可決しました。一般質問は、3人の議員が行いました。

**黒字継続中**  
**2億1644万円の黒字!**  
一般会計決算  
歳入61億7453万円 歳出59億3341万円

### ▽24年度一般会計決算

歳入（収入）は、61億7453万円、歳出（支出）は、59億3341万円。

25年度へ繰り越すべき財源2469万円を引いた実質収支額は、2億1644万円、黒字を継続中です。このうち1億2千万円を、基金に積み立てました。

歳入は、地方交付税が39・9%で最も高く、町税16・5%、国庫支出金11・0%の順です。

地方交付税、国庫支出金・県支出金が23年度より5億円以上減少しました。収入未済額は7億1142万円。そのうち町税は、20・6%を占め、収納率は86・4%と、5年連続で低下しています。

目的別の歳出は、民生費が22・3%で最も高く、主なものは、児童福祉費・障害者福祉費の扶助費、老人福祉費の介護保険特別会

計・後期高齢者医療特別会計への繰り出しなど。前年度より0・7%増えています。

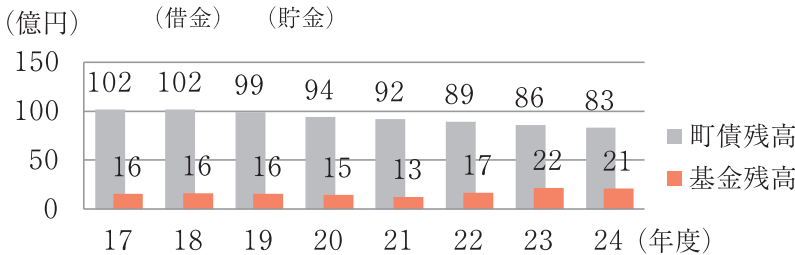
次は、総務費の21・4%で、4・1%の増です。主なものは、八戸地域広域市町村圏事務組合負担金、大蛇地区集会所移転新築工事費、東部地区光ケーブル設置工事費などです。

3番目は、公債費の15・9%で、1・1%の増です。性質別の歳出は、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が、43・7%で、前年度より2・0%の増です。

投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費等）は、15・7%で、2・9%の増です。その他の経費（物件費、維持補修費、補助費等、積立金、出資金貸付金、繰入金）は、40・6%で、4・9%の減です。

24年度決算の財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は、93・4%で、前年度より2・3%の増、23年度に引き続き上昇し、財政構造の硬直化が進んでい

町債・基金残高の推移 (一般会計)



人件費は減少しましたが、扶助費・公債費の増加と、一般財源となる歳入の減少が主な原因です。

町債（借金）現在高は、83億731万円、前年度より3億39万円減少しました。歳出は、社会保障費の扶助費や繰り出しの増加が予測され、歳入は、地方交付税の減額など、今後も町税や国から交付される財源は、厳しい状況です。

### ▽24年度国民健康保険特別会計決算

歳入（収入）は、18億7682万円、歳出（支出）は、17億6418万円、1億1264万円の黒字。

そのうち6千万円を国保会計調整基金へ繰入れ。歳入は、国民健康保険税4億4094万円、国庫支出金5億8801万円など。繰入金は1億4697万円（7・8%）。

歳出は、保険給付費1億3364万円、後期高齢者支援金等2億5175万円など。

### ▽24年度介護保険特別会計決算

歳入は、10億2934万円、歳出は、10億2171万円、763万円の黒字。

そのうち695万円を介護給付費準備基金へ繰入れ。

### ▽24年度後期高齢者医療特別会計決算

歳入は、9426万円、歳出は9368万円、58万円の黒字。

歳入は、保険料5397万円、繰入金3849万円、98・1%を占めます。

歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金の8330万円、88・9%。

### ▽24年度漁業集落排水事業特別会計決算

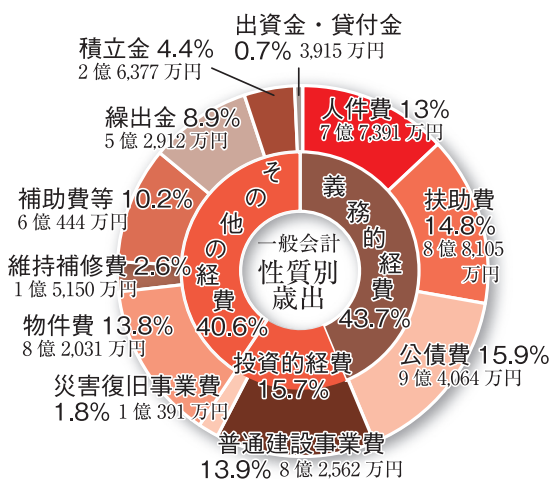
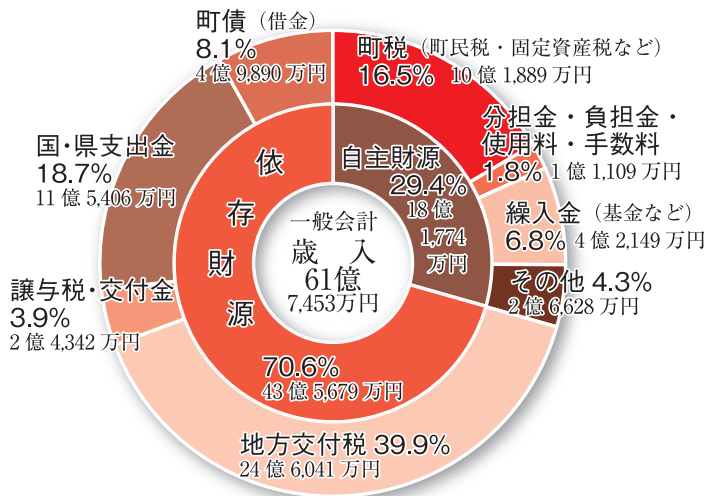
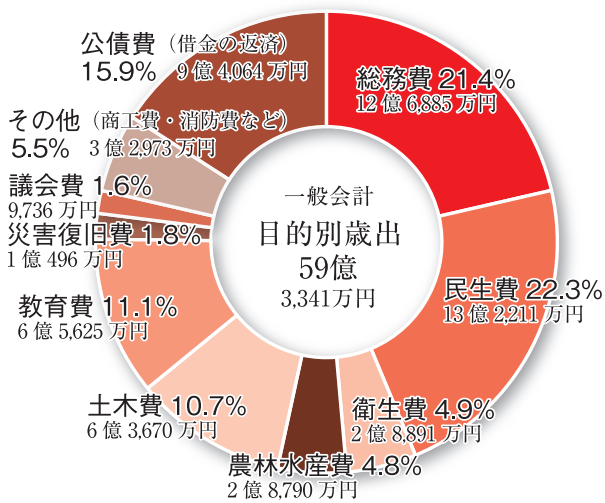
歳入は、4383万円、歳出は、4352万円。31万円の黒字。

### ▽24年度公共下水道事業特別会計決算

歳入は、1億7768万円、歳出は、1億7623万円。25年度への繰越財源は、16万円で、129万円の黒字。

# 増えつづける民生費 22.3%

## — 24年度一般会計・特別会計決算を認定 —



◆一般会計・特別会計の決算額と収入未済額

会計名	決算額		収入未済額 (税金等の滞納)	
	歳入(収入)	歳出(支出)		
一般会計	61億7,453万円	59億3,341万円	7億1,142万円	
特別会計	国民健康保険	18億7,682万円	17億6,418万円	2億3,809万円
	介護保険	10億2,934万円	10億2,171万円	858万円
	後期高齢者医療	9,426万円	9,368万円	151万円
	漁業集落排水事業	4,383万円	4,352万円	0
	公共下水道事業	1億7,768万円	1億7,623万円	2,578万円
	小計	32億2,193万円	30億9,932万円	2億7,396万円
合計	93億9,647万円	90億3,273万円	9億8,538万円	

金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

【監査意見】

### 財源の安定確保と震災復興 計画的な行財政運営を

代表監査委員 三上孝八  
監査委員 鹿原章男

▽一般・特別会計  
24年度一般会計・各特別会計の予算の執行および事務処理は適法かつ適正な決算であると認められた。  
町税は、5年続けて収納率が低下。納税者の納税義務と税の公平負担の観点から、収納率の向上を図り、収入未済額の圧縮にいつそうの努力をお願いする。

少子高齢化の進行による扶助費や社会保障費などの増加、老朽化する公共施設の維持管理などの経費に加え、東日本大震災からの「復旧から復興」に向け、町民が安全で安心して暮らすことができ

る防災体制の整備など、多くの課題が山積し、財政環境は厳しい状況。これらの課題に的確に対応し、「ゆめみらい心ときめくふるさとづくり」を実現するため、引き続き計画的・効率的な行財政運営に努め、三陸復興国立公園の指定を機に、町の観光資源を掘り起こし、積極的に町の魅力を発信し、協働のまちづくりの精神を十分に発揮しながら、諸施策を展開するよう要望する。

▽財政健全化指標  
昨年と同様に財政の健全化が保たれている。今後この状況を維持することを切望する。

地域の元気に1億1142万円を積み立て

一般会計補正予算 2億6169万円を増額補正

▽地域の元氣臨時交付金 基金条例の制定

国から交付される地域の元氣臨時交付金の対象となる事業を円滑に進めるため、地域の元氣臨時交付金基金を設置しました。

▽25年度一般会計補正予算(第3号)

2億6169万円を増額補正し、予算総額は58億5672万円。

歳入(収入)は、国庫支出金1億2857万円、繰入金7356万円、繰越金8644万円等を増額し、町債4060万円等を減額しました。

歳出(支出)は、民生費2115万円、土木費4831万円、公債費4707万円、諸支出金1億1142万円等を増額。主なものは、東日本大震災の津波により滅失・

損壊した住宅を再建し定住促進を図るための被災者定着促進事業住宅再建補助金2618万円。

特定被災地方公共団体補償金免除繰上償還のための元金償還金4707万円。

地域の元氣臨時交付金基金の積立金1億1142万円などです。



復興国立公園階上岳内草刈委託に820万円

豆知識

地域の元氣臨時交付金 「地域に元氣」を与える目的の交付金。公共事業(建設地方債対象の地方単独事業や建設公債対象の国庫補助事業など)で、町が実施計画を策定したものが対象。町負担の8割が充当される。

地域の元氣臨時交付金

▽25年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

5943万円を増額補正し、予算総額は18億6341万円。

歳入は、繰入金716万円、繰越金5264万円を増額し、前期高齢者交付金37万円を減額。

歳出は、総務費50万円、諸支出金3933万円、予備費2013万円等を増額し、後期高齢者支援金等103万円、介護納付金54万円等を減額しました。

▽25年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

3263万円を増額補正し、予算総額は10億5616万円。

歳入は、国庫支出金2014万円、支払基金交付金281万円、県支出金498万円、繰入金403万円、繰越金68万円を増額。

歳出は、保険給付費900万円、基金積立金2194万円、諸支出金169万円を増額。

▽25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

58万円を増額補正し、予算総額は9456万円。

歳入は、繰越金58万円。歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金23万円、諸支出金36万円を増額。

▽25年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

34万円を増額補正し、予算総額は4603万円。

歳入は、一般会計繰入金3万円、繰越金31万円、歳出は、総務費21万円、施設管理費14万円を増額しました。

▽25年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

31万円を減額補正し、予算総額は2億4620万円。

歳入は、一般会計繰入金160万円を減額し、繰越金129万円を増額。歳出は、総務費54万円を増額し、施設管理費85万円を減額。

平成25年度 一般会計・特別会計の補正予算額

区分	補正額	→	予算総額
一般会計補正予算(第3号)	2億6,169万円	→	58億5,672万円
特別会計	国民健康保険(第2号)	→	18億6,341万円
	介護保険(第1号)	→	10億5,616万円
	後期高齢者医療(第1号)	→	9,456万円
	漁業集落排水事業(第3号)	→	4,603万円
	公共下水道事業(第3号)	→	2億4,620万円

金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。





耐震補強・改修工事のはじまった役場庁舎

**▽庁舎耐震補強・改修工事請負契約の締結**  
 避難・防災拠点の構造耐震指標をクリアするため、庁舎外側の11カ所を鉄骨ブレスで補強します。工期は来年3月まで。  
 契約額 8271万円  
 契約者 寺下建設株式会社

**▽避難施設再生可能エネルギー等導入工事請負契約の締結**  
 指定避難所のハートフルプラザ・はしかみに太陽光パネル20kWと停電時の電源確保のため畜電池を設置します。工期は、来年3月まで。  
 契約額 5544万円  
 契約者 三和電業株式会社



屋根の改修工事のあとに太陽光パネルが設置されるハートフルプラザ

庁舎耐震補強改修工事8271万円で契約

**▽24年度健全化判断比率・資金不足比率**

区 分	24年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— ※1	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	— ※1	20.00%	30.00%
実質公債比率 ※2	13.7%	25.00%	35.00%
将来負担比率 ※3	95.2%	350.00%	
資金不足比率	— ※4	経営健全化基準 20.00%	

※1 黒字のため比率はありません。 ※2 自由になる財源の内、借金返済の割合。  
 ※3 実質的な債務が、自由になる財源の何年分かの割合。 ※4 公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計は、ともに黒字のため資金不足はありません。

**▽町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例等の一部改正**  
 税金以外の手数料等を納期限後に納めた場合の延滞金は、税金の場合と同じ取り扱いになります。

**▽地域畜産総合対策事業施行条例及び地域畜産総合対策事業の経費の賦課徴収に関する条例の廃止**

地域畜産総合対策事業が終了しました。

**▽八戸圏域水道企業団規約の変更**

南部町から企業団に引き継いだ簡易水道事業債は、南部町が負担します。

**■意見書**

**▽「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書**

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割をふまえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する地方財源を確保・充実する仕組みの構築を求めるものです。提出先 国

**▽道州制導入に断固反対する意見書**

道州制導入は、事実上の合併を進め、効率性や経済性を優先した大規模な団体は、住民と行政との距離を遠くし、住民自治を衰退させます。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、国力の増強につながるため、道州制の導入に強く反対するものです。提出先 国

**■追悼演説**

9月10日の議会定例会開会前に、故重文字勝義議員に対し、全員で黙とうを捧げ、加藤副議長が追悼演説を行いました。議席には花が供えられ、傍聴席には遺影を胸にご遺族の方が着席されました。開会后、町長も提案理由の説明前に、追悼のこたばを述べました。

一般  
質問

# ここが聞きたい

9月定例会では3人の議員が登壇し、町側の考えをいただきました。要旨を掲載しています。



加藤 祐 議員

## 復興交付金事業と自主財源を伴う事業計画は 町長／町道大蛇踏切・追越浜線避難路整備と庁舎の改修

**Q①** 東日本大震災で、本町も甚大な被害にあった。

行政と町民が一体となり、いち早く復旧に努めた結果、今は、何事もなかったかのように整備された。

大震災の教訓から、被害の発生を防ぐことは困難との認識に基づき、堤防、防潮堤の整備や建物の耐震性の強化、災害時に発生する被害を最小化するため、地域住民と対話し、今後の事業計画に盛り込むべきである。

国の27年度までの期限付き、復興交付金事業計画による、本町の復興交付金事業と自主財源を伴う事業計画の予定は。

**A①** 町長 23年度に「町震災復興計画」を作成、早期復興と災害に強いまちづくり

と災害に強いまちづくり

をめぐし、被災した集会所の新築や、津波防災対策調査事業などに取り組んでいる。

津波防災対策調査事業は、人命を最優先に、被害軽減を図るもの。

24年度は、沿岸地域の調査を行い、津波避難計画・津波ハザードマップの策定、津波避難施設整備の検討などを行った。

津波浸水予測区域のある地域を対象に、追越、小舟渡、駅前3集会所で、ワークショップを開催した。

意見や提言は、25年度以降の事業計画に盛り込み、復興交付金を活用して実施する。

復興交付金事業では、今年度、「町道大蛇踏切・追越浜線避難路」の調査・測量・設計を委託し、26～27年度に工事予定。

大蛇三地区集会所移転

新築などの事業効果促進のため、避難誘導灯と避難誘導看板を設置予定。

自主財源を伴う事業計画は、復興基金を活用して実施。主な事業は、防犯灯のLED化、避難所使用のため役場庁舎1階の改修と庁舎前の駐車場整備を予定。

**Q②** 堤防、防潮堤をどう考えるか。

八戸は防潮堤の見直しが計画され、おいらせ町は進んでいる。本町の沿岸は、大きい津波だと防げない。大蛇の住宅が被害を受け、漁業集落排水処理施設も壊された。

八戸を例に、行政が提案し、漁業者や地域の求めに応じて、復興交付金の活用を考えた事業計画を立てるべきでは。

町の自主財源で、長期

に整備することも必要。避難経路は、線路、坂、車いすや障害者などの検討が必要。いち早く避難するため、個々の見直しを行い、住民と対話すべきでは。

**A②** 町長 漁業集落排水処理施設が津波により使用不能になった。地域の一番低い場所という地理的な問題

で設置されたもの。交付金事業は、直接、被害を受けたものが原則施設の緊急回復を最優先した。

町が被害を受けたことへの防潮堤のかさ上げは、町だけの問題ではない。将来的な課題で、県と協議しながら進める。今回、10・7mの津波があつたが、幸いにして人命に被害はなかった。最大の教訓は、津波が来たら逃げることに。このようなソフト面の対応を整備するため、避難路の確保に優先して取り組んでいる。

**Q③** 東日本大震災を教訓に、減災の取り組みが必要。

津波だけでなく、さまざまな災害に対し、あらゆることを考えて整備し、見直すことも必要では。

**A③** 町長 しっかりと連携しながら、進めていきたい。



漁業集落排水処理施設





松尾 國治 議員

## 三陸復興国立公園指定に伴い沿線のトイレ整備を

### 町長／小舟渡廿一平は25年度に 他も急ぎ整備する

**Q①** わが町の海岸と階上岳が三陸復興国立公園に指定され、3か月半が経過した。

八戸市蕪島から福島県松川浦まで、約700kmの長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」の町内ルート案が、先月21日に、環境省東北地方環境事務所より示された。

八戸市蕪島から久慈市まで約100kmが、今週にも先行開通される。関連するセレモニーやウォークを含む各種イベントが、先月24日、25日に開催され、機運も多いに盛り上がっている。

これらの町内の地域、ルート内の公衆トイレには、老朽化が進み、機能的にも古く、利用者より不平不満が出ているトイレがいくつかある。

町内最大のイベント

「いちご煮祭り」が開催される場所にある、小舟渡廿一平のトイレは、特に、不満が絶えない。

国立公園内、みちのく潮風トレイルのルートにかかる公衆トイレの新・増改築を含めた、総合的な整備を進めてほしい。

### A①

**町長** 階上海岸・階上岳の国立公園内とトレイルコースには、11か所の公衆トイレが設置されている。

そのうち、水洗トイレは5か所、その他はくみ取り式で、老朽化も進み、衛生上や不便性も指摘されている。

町では、国立公園指定に伴い、小舟渡廿一平のトイレは、改築を望む声も聞いており、昨年度から国へ、最優先で要望してきた。

国立公園内の施設整備は、国の整備が基本。

7月に、東北環境事務所と環境省に、管理計画の策定と今年度からの施設整備を要望してきた。

小舟渡廿一平の公衆トイレの予算は、25年度分で確保された。

事業施行は、国直轄で行うため、まだ時間がかかる予定。

その他の公園内のトイレは、老朽化の激しい、利用率の高いものから、国に要望していきたい。

潮風トレイルコースは、ロングコースのため、コース内の要所に、新たなトイレの整備を含め検討していく。

国立公園指定に伴い、多くの観光客を呼び込み、地域の活性化を図るため



小舟渡廿一平にあるトイレ

の事業展開と、町の豊かな自然の魅力を満喫できる国立公園をめざすためには、ここ2～3年が、

さまざまな取り組みをする重要な期間。今後は、官民一体となり、強化して取り組む。



追越漁港周辺

### Q②

追越漁港周辺では、排泄に関するトラブルがときどきある。

釣り客も増え、漁業生産部会のウニ採りなどは、たくさんの方が浜に集まり、朝から夕方まで作業している。

追越漁港や追越生産部会周辺はトイレがない。以前は、部会の横にトイレがあったが、老朽化により取り壊された。

最近、トラブルがときどきある。最低限のトイレ整備を、地域で要望したいと考えているが。

### A②

**町長** 潮風トレイルの沿線にあり、多くの来町者のあ

る地域での公衆トイレは、おもてなしの一番大切な部分、場所や地域の状況を把握し、地域の人と協議しながら検討したい。



石川 清人 議員

# 浜手地区活性化の取り組みは

## 町長／地域資源や歴史文化を生かした拠点づくりに取り組む

**Q①** ①約8年間、町長として、財政運営し、今現在も財政が厳しく、合併すべきと考えているか。

②道仏中のグラウンド整備・夜間照明設置事業の取り組みは。

③企業誘致の推進の取り組みは。

④八戸久慈道の階上センターが道仏に完成、三陸復興国立公園の指定受けたが、町の将来像が示されていない。

⑤東日本大震災の復旧・復興の達成率は。

震災後、漁協6部会、部会長、役員と懇談したか。

そのときの要望は。復旧・復興の交付金の収入、支出の状況は。

⑥早生そばの在庫は、



道仏中グラウンド

### A①

**町長** ①就任当時とは、町の財政状況も国の取り組みも変化、課題解決の方法も多い。

財政状況を厳しく管理

適切に判断していく。

②グラウンド整備は、震災復興が一定段階に達した時点で、取り組む。

③町内の誘致企業は、県誘致3、町3の計6社。県企業誘致推進協議会と連携、「あおもり産業立地フェア」(東京)に参加し、町のPRと情報交換。

岩手県の誘致企業2社の視察に参加。

「ふるさと」はしかみ会会員、県東京事務所とは毎年、情報交換。

企業環境の整備に努め、道路ネットワーク機能の向上を生かし、町の情報パンフレットを作成、関係機関と連携を図り、積極的に取り組む。

④浜手7地区では、地域の特性を生かした活動をいろいろ行っている。

地域資源や歴史文化などを生かした拠点づくり

に、地元や関係機関と連携して取り組む。

⑤復旧の達成率は、100%。

復興の達成率は、町震災復興計画の重点プロジェクト23項目中20項目達成で86%の見込み。

部会との懇談会はない。漁協には、会合、被害状況等の調査を含め、町から働きかけた。

漁協からの要望等は、4回、9項目ほど。

復旧・復興の交付金の総額は、23～24年度で、国・県支出金が、約9億9100万円。震災復興特別交付税が、約2億2700万円。主な事業は、大蛇三地区集会所整備事業、東部地区光ケーブル整備事業、道仏公民館耐震補強改修事業など。

⑥昨年度産の在庫は、約5トン。2か月で完売

予定。在庫の心配なし。今年度作付面積は、38・6ha、生産量約34トンの見込み。

2人分の年間給与予算額は、678万円。

市町村元気事業の趣旨は、廃校を活用、地域と行政が一体で、階上早生を中心に、各種産業振興事業を展開、地域振興を図ること。

廃校サミットなどのイベント経費や、子供達の遊具の備品購入を実施。

27年度から、運営協議会を運営母体に、指定管理者制度に移行の予定。

### Q②

①町の誘致企業3社は。

②漁協本部役員以外にも意見集約は全部できたか。

③小舟渡集会所の高台移転は。

④漁協本部は、築40年、海拔23mで、津波の浸水は想定外。地震の場合は、疑問。指揮本部に不適。

⑤支給対象外の小船に町で助成は。

⑥震災復興、国立公園の予算は、大きな視野に立って計画すべきでは。

**A②** 町長 ③小舟渡集会所は、津波被害がなく、交付金対象外。別の角度で検討する。

④今後の検討課題。

⑥海岸は漁業者が利用。水産振興、地元漁業者のため、漁協のリードに期待、町も努力する。

**A②** 総合政策課長 ①八戸炭酸カルシウム工業、共立工業、キーンソー流通システム。

⑥復興交付金、復興基金の今後の事業は、被災者の住宅再建支援事業、大蛇避難路整備、防犯灯設置事業など。

**A②** 産業振興課長 ②漁協では、部会4回、理事会8回開

催。7日以内の被害報告で、原形復旧基本にさまざまな事業に取り組む。

⑤船の件は、共同利用漁船等復旧支援対策事業で、すでに完了との認識。



# 質疑あれこれ

9月定例会の議案の中から、  
質疑を要約してお知らせします。

## 25年度一般会計補正予算

石川清人議員

### ◆階上駅のトイレ

駅前公衆トイレ縦横断  
図面作成委託料30万円

**問** JRで、駅のトイレ  
を取り壊し、建てない計  
画で、補正で進むと考  
えるが、どのような経過  
があったか。

**答** なぜ駅のトイレは、J  
Rでつくりたくないのか。

### ◆道仏集会所の修繕

(当初予算400万円)

**問** ①25年度予算で、道  
仏集会所を修繕している。  
今の補正にないが、当  
初計画になく、地元区長  
から要望のあった、雨漏  
りしている屋根交換、フ  
ロア交換と玄関、台所と  
和室の部分の床修理など  
への対応は。

**答** ②道仏集会所は、22年  
度の耐震診断の結果、危

険という結論が出ている。  
早急に建て替える考え  
はあるか。あるとすれば、  
何年度か。

**問** 総合政策課長 ①和  
室、台所など、地元区長  
と協議し、予算内で修繕  
する。

**答** ②老朽化が進んでいる  
ため、27年度の震災復興  
の期限までの集中期間が  
終わりしだい、建て替え  
の方向。

### ◆復興公園内草刈委託

復興国立公園階上岳内  
草刈委託料820万円

**問** 道路維持費の三陸復  
興国立公園内の草刈委託  
料の内容は。

**答** 建設課長 今回補正  
の草刈委託料は、町道3  
路線、林道8路線、あわ  
せて39kmの両側の草刈り。  
国立公園外であるが、  
トレイルコースとなる、  
寺下から上野方面への道  
路も含まれている。

山田恵治議員

町民あげての草刈りを、  
来年からプラスしてはど  
うか。

**答** 町長 全町あげての  
草刈りは、今のところ検  
討していない。  
クリーンアップは、継  
続していきたい。  
それ以外は、今後の検  
討課題である。

## 25年度国民健康保険 特別会計補正予算

郷州公典議員

### ◆特定健康診査・保健指 導負担金返還金

**問** 特定健康診査・保健  
指導負担金返還金が、96  
万円返還になっている。  
健診を受ける人が予定  
よりも少ない。

**答** 健診者を増やし、健康  
づくりのまち、健康事業  
にあふれるまちをつくら  
てほしい。  
協働のまちづくりで、

ほとんどの行政区が、住  
民の健康づくりに取り組  
んでいる。ジョギングや  
散歩コースなどを設定。  
健康に暮らせる地域つ  
くりをしている。

**問** 24年度決算では、基金  
に6千万円をプラス。  
町民の長命長寿のため、  
お金を使うことは、価値の  
ある事業である。  
県下一の長寿の町をめ  
ざしてほしい。町長の考  
えは。

**答** 町長 健康づくりで  
医療費が削減されるなら、  
みんなで真剣に考えてい  
くべき。

各地域の健康づくり教  
室などの主導は、地域の  
人たちの意識が先。行政  
は、地域を支援する立場。  
全体の機運を高めるた  
め、健診の受診率を上げ  
健康寿命をのばす視点が  
必要。

「元気で長生き」に重  
点をおき、各地域の計画  
を支援していきたい。

### ◆総合政策課長 列車

にもトイレがあるため、  
今のトイレは取り壊し、  
駅のトイレは建てないと  
の回答である。



工事がすすむ階上駅



改修後の道仏集会所で敬老会



**問** 復興国立公園の路線  
を足元からきれいにす  
ることは、たいへんいい  
ことである。  
町内外、県内外から訪  
れる人たちに、おもてな  
しの気持ちで、道路を整  
備することは大事なこ  
と。  
5月の国立公園指定前  
に、町民全体で、海・山  
のクリーンアップを行っ  
た。

協働のまちづくりで、

# 議会活動

## 8月

- 1日 郡議長会臨時総会
- 5日 議員全員協議会
- 6日 町防犯交通安全少年球技大会
- 6日 県民体育大会結団式
- 20日 第2回定住自立圏の形成に関する勉強会・交流会
- 24日 三陸復興国立公園指定記念イベント
- 25日 みちのく潮風トレイル開通記念ウォークイベント
- 26日 八戸地域広域市町村圏事務組合行政懇談会
- 28日 議会改革正副議長会議
- 30日 民生委員推薦会
- 30日 町老人スポーツ大会
- 30日 県民駅伝競走大会結団式



## 9月

- 1日 県民駅伝競走大会反省会
- 5日 議会運営委員会
- 10日 第3回定例会本会議
- 10日 議員全員協議会
- 12日 第3回定例会本会議
- 12日 議会のあり方に関する検討委員会
- 13日 第3回定例会本会議
- 13日 議員全員協議会
- 19日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員協議会
- 22日 町消防団操法大会
- 25日 県町村議会議長会議会広報研修会
- 26日 第1回議会たより編集委員会
- 27日 県境交通安全推進大会



## 10月

- 1日 町防犯弁論大会
- 4日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 11日 第3回定住自立圏の形成に関する勉強会・交流会
- 15日 町戦没者追悼式
- 19日 三陸復興国立公園階上岳指定記念植樹祭
- 20日 町生涯学習まちづくりフォーラム
- 23日 臥牛山まつり実行委員・運営委員合同会議
- 26日 階上早生新そば祭り（27日）
- 28日 県議長会正副議長事務局長研修会
- 31日 議員全員協議会
- 31日 郡議長会議員研修会



## 議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	祝金	9月1日	県民駅伝競走大会町選手団反省会	3,000円
2	会費	10月15日	町戦没者追悼式	3,000円

### 議会のあり方に関する検討委員会を設置

#### ◆9月10日 議員全員協議会

町民に、より信頼され開かれた議会をめざし、議会改革の調査研究・提言を行うため、「議会のあり方に関する検討委員会」の設置と委員4人を全員一致で決定しました。

委員は、次のとおり。

- ・ 山田 恵治（議会運営委員長）
- ・ 郷州 公典（総務財政委員長）
- ・ 石川 清人（教育民生委員長）
- ・ 百目木和俊（産業建設副委員長）

#### ◆9月12日 議会のあり方に関する検討委員会

- ①委員長・副委員長を互選
  - ・ 委員長 山田恵治 議員
  - ・ 副委員長 郷州公典 議員
- ②議会報告会開催に向けた検討
  - ・ 時期や会場、班編成などについて協議。

・ 今年度は、1月下旬から2月下旬の間で開催の予定。

#### ◆9月13日 議員全員協議会

検討委員会の協議内容を報告。今後は、議会報告会開催に向け、準備を進めていきます。

（全員一致で決定。）



## 議会議員研修会

10月31日、南部町で開催された「三戸郡町村議会議員研修会」に、議員10人が参加。

- 講師 青森県農林水産部  
あおもり食品産業振興チーム  
主幹 三上 一哉 氏
- 演題 「農林水産業の6次産業化」って  
なんだろう？



## 議会広報研修会

9月25日、青森市で開催された「県町村議会議長会議会広報研修会」に、木村議長、加藤副議長、5議員の7人が参加。

- 講師 広報コンサルタント  
深沢 徹 氏



## 定住自立圏講演会

10月11日、五戸町で開催された「八戸圏域定住自立圏講演会」に、議員8人が参加。

- 講師 Jリーグ1部大宮アルディージャ運営法人  
エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニ  
ティ株式会社  
代表取締役社長 鈴木 茂 氏
- 演題 未来を、ともに



8月20日、南部町で開催された「八戸圏域定住自立圏講演会」に、議員9人が参加。

- 講師 総務省地域自立応援課  
課長 馬場 竹次郎 氏
- 演題 定住自立圏構想の推進について



## 議会だより編集委員会

今月号から議員による  
編集がはじまりました

9月10日の議員全員協議会で、毎回3人の議員による「議会だより」の編集を行うことが決まりました。

第1回目の編集委員会は、9月26日に開催され、議会だよりの内容と作業分担などについて話し合いました。

◇今月号の編集委員（3人）

- ・ 加藤 祐議員（総務財政）
- ・ 大江和夫議員（産業建設）
- ・ 松尾國治議員（教育民生）

◇編集委員会の開催

- ・ 第1回 9月26日
- ・ 第2回 10月7日
- ・ 第3回 10月11日
- ・ 第4回 10月16日
- ・ 第5回 10月29日





21年に復活した盆踊り大会でにぎわう住民

# 未来に残そう豊かな自然と伝統文化

階上町では、19の全行政区で、まちづくり計画をつくり、協働のまちづくりを進めています。

計画期間は、2029年度の10年間、25年度から後期計画が始まりました。

今回は、鳥屋部行政区の小沢勝区長にお話を伺いました。



小沢 勝 区長

**Q** 区長になったきっかけは。

**A** 十数年前から事務局をしていましたが、今回の改選時に、前任の田中武志氏（7期21年間）が勇退、後任に推薦され、引き受けることになりました。

**Q** 鳥屋部行政区はどんなところですか。

**A** 町のほぼ中央に位置し、県道・名川階上線と階上十日市線が交差しています。

階上岳の中央登山口として昔から利用され、登山口周辺もさらに整備されて、毎日のように登山客が訪れています。

今年5月には、階上岳が三陸復興国立公園に指定され、登山客をはじめ一般の方からも、ますます注目され、にぎわっています。

文化面では伝統芸能の鳥屋部えんぶり（国の重要無形民俗文化財）が継承されています。

**Q** 前期計画では、どんなことを行いましたか。

**A** 地区計画推進事業を利用し、21年度から盆踊り大会を復活させ、地区の交流を活性化させています。

鳥屋部えんぶりの保存・伝承のため、のぼり旗を新しくしました。

環境美化活動では、不法投棄防止看板の設置、ごみ収集箱の整備、刈り払い機の替刃の支給などを行いました。

町道・鳥屋部下道線600m、浜渡地区水路300m、森の交流館・駐車場間の遊歩道100mなどの整備も完了しています。

**Q** 後期計画のおもな取り組みは。

**A** 前期に引き続き、計画書に基づき、ハード・ソフト両面で、その実現をめざし、推進していきます。

主なものは、水路の整備、健康増進事業、環境美化活動、災害等に備えた対策の強化、文化・教育活動の推進などで、「鳥屋部地区に住んでいて良かった」と思われる、安全で健康に暮らせる豊かな地区づくりに努めます。

**Q** 階上岳が三陸復興国立公園の指定を受けましたが。

**A** 5月下旬の指定でしたが、4月から6月に、町内で山林火災などの不審火が20件以上多発し、全国版のテレビや新聞でも大きく報道されました。

階上岳は、民有林で、鳥屋部共有地も4ha以上が被害を受け、たいへん残念に思っています。

今後、絶対にあつてはならないと感じています。岳に、たくさんの方が来て、楽しんでくださることは大歓迎です。

ごみなどは持ち帰り、自然を壊さず、汚さないようにお願いします。

**Q** 議会や議会広報への意見・要望はありませんか。

**A** 議員の編集がはじまり、ますます議会だよりが楽しみになりました。（ご協力ありがとうございました。）

## 編集後記

「議会だより」を議員が作成することを決め、今回、はじめての発行となり、たいへん苦勞しました。今後、ますます皆様に親しまれる「議会だより」をめざします。（加藤、大江、松尾）

## 議会傍聴者数

- ・第3回定例会（平成25年9月）
- 9月10日（0人）
- 9月12日（10人）
- 9月13日（3人）



議会を傍聴しませんか  
 次回の定例会は11月26日（火）開会予定です

議会の傍聴は、受付簿に、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。